

主催事業実施状況

	講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
若者の居場所・仲間づくり・学習機会の提供	ブックカフェ	本に関心のある人が集まる場。読書のきっかけづくりになるように、いろいろな面白い本を置くようになっている。話したいテーマを話し合い、月別のテーマにして交流を深めた。	6月3日、24日、7月13日、22日、8月12日、26日、9月9日、23日、10月8日、22日、11月12日、26日、12月10日、1月14日、21日、2月18日、25日、3月11日、25日	19	生徒・学生・支援者等	109
	おおはら保健室	コンドームケースにもなるアクセサリケースをデコレーションしながら、コンドームの保管方法や恋愛の悩みなどの話をする。	7月16日、9月29日	2		21
	紙芝居制作	中学生の時（2018年の夏）にi-youthで幼児のための紙芝居を作った経験をもつ高校生が核となり、コロナをテーマとする子どものための紙芝居づくりを提案した。	6月1日、4日、22日、27日	4		17
	ハローウィン・お化け屋敷・ボディペインティング	i-youth利用者の中学生の提案によりハローウィンとして、手作りお化け屋敷を企画した。高校1年生と受付でアルバイトをしている大学生2名らのボランティア協力を得て、お化け屋敷とボディペインティングを実施した。	10月28日	1		65
	小計					26
若者の学習機会	キャリア教育	令和元年から始まった出張進路相談会。i-youth利用者のために北豊島工業高校定時制の先生が来館。北豊島工業高校の概要だけでなく、都立高校全般についてと都立入試制度などについて幅広い説明をうけた。	8月5日	1	生徒・学生・支援者等	14
	地域と協働・連携する大学間ネットワーク推進会議	第4回コースフォーラム「動画のコンテンツ制作」のための「ピアノ演奏の動画撮影会」	2月6日	1		26
	第5回コースフォーラム「i-youth卓球教室」第1回	いつも何となく卓球を楽しんでいたおとなしい利用者が、コースフォーラム（動画撮影）の実行委員の打ち合わせの様子に触発されて、「卓球の先生をまなぼーと大原に呼んで、卓球をおしえてもらおう。」と初めて自らの意思で自分たちの意見をまとめて提案してきたことからこの企画はスタートした。	3月29日、30日	2		29
	小計					4
若者支援の援助・促進	青少年支援機関との「いたばしいたば子ども・若者支援ネットワーク会議」世話人会	ネットワーク会議の構成団体から要望された現代的課題や地域の課題やテーマを調整して決定し、そのテーマに応じた団体等に講師をお願いして学びあい、ネットワークを拡充する学習に取り組んでいる。	6月12日、7月3日、8月7日、9月4日、10月2日、11月6日、12月4日、1月22日、2月5日、3月5日	10	支援者・関係団体	89
小計				10	89	

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
サークル公開教室	サークル公開教室	親子陶芸体験	夏休み中に親子で陶芸体験を行った。夏休みの自由研究として活用できるようにこの時期に設定した。注意事項が多い中での開催ではあったが、参加者から楽しかったとの声が寄せられた。	8月2日	1	一般	15
		社交ダンス健康講座	感染の防止に努め、特殊な形態での実施となったが、運営したサークルによると、参加者からは好評を得られたとのことであった。	10月6日、13日、20日、27日	4	一般	57
		大正琴	緊急事態宣言中で欠席者が多かったが、参加者からは、楽しくすごせ、演奏もきけて良かったとの声も寄せられた。	2月3日	1	一般	6
		小計				6	
集会事業	集会事業	第5回まなぼーと大原フェスティバル打ち合わせ	令和3年度のまなぼーと大原フェスティバルの打ち合わせ。3密を避けるため、3回に分けて行った。参加団体の会場・レイアウト・出演時間などの決定、また開催に伴う役割分担などの確認を行った。	2月7日	1	当センター利用団体	31
		小計				1	
地域共同事業	地域共同事業	地域活動見本市～MISHO～実行委員会	新型コロナ感染症の影響で、これまでのようなイベント型の清水地域活動見本市を開催することが困難なため、連続講座形式で行うことになった。	8月20日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日、3月25日	6	関係者	67
		小計				6	
社会参加支援	あすなひろ	全体説明会、自己紹介、クラブ説明	軽度の知的障がいのある青年に学習の機会を設けるとともに、障がいの有無にかかわらず、メンバーが互いに学び合う関係をつくることを目指して、事業を実施。新型コロナ感染症の影響で、例年と年間計画を変更して実施。	9月6日、10月4日、11月1日、12月6日、1月10日	5	メンバー・関係者	86
		小計				5	
ボランティア市民活動	いたばし活動ボランティア市民活動	第139回ボランティア・市民活動フォーラム 「『総合的な学習の時間』に関わる障がい者の社会参加を考える」	(1) 基調講演：社会教育を学校などに繋げる意義について (2) 事例発表：「総合的な学習の時間」に参加した私の学び (3) 意見交換 (4) 総評	7月5日	1	一般	24
		第140回ボランティア・市民活動フォーラム 「コロナ禍の中で今とこれからを語ろう、つながろう」	子ども・若者支援「コロナ禍の中で今とこれからを語ろう、つながろう」趣旨説明、参加団体の紹介・情報交換	2月14日	1	支援者・関係団体	14
		第141回ボランティア・市民活動フォーラム 「高次脳機能障がい者の支援とその課題を考える」	「高次脳機能障がい」への理解を深め、板橋区で行われている高次脳機能障がい支援の現状とこれからの課題を考えるフォーラム。	3月13日	1	一般	17

主催事業実施状況

		講座名	内容	実施日	延べ回数	対象	延べ受講・参加者数
ボランティア・市民活動	ボランティア・市民活動	第141回ボランティア・市民活動フォーラム 「高次脳機能障がい者の支援とその課題を考える」 振り返り	フォーラムで出た課題をコーディネーター・パネリスト・スタッフで検討した。運営の方向性で悩んでいる家族会の支援をしていくことを来年度の活動目標とした。	3月22日	1	支援者・関係団体	7
	小計				4		62
ICT学習支援	ICT学習支援	大原ICTサポート役員会	各グループの代表・副代表によって構成される連絡会。大原ICTサポートの運営に係わる計画の検討や調整、実施の報告を行う。	7月27日、8月7日、9月29日、10月9日、11月12日、24日、2月7日	7	ボランティアスタッフ	80
	ICT学習支援	パソコン講座準備	いたばしシニアネット、XPが定例会を実施。	10月2日、3日	2	ボランティアスタッフ	26
	ICT学習支援	フレンドセンターパソコン教室	フレンドセンターに通う小中学生へPC教室。	6月23日、7月14日、10月20日、11月17日、12月8日、2月9日	6	児童	108
	小計				15		214
学校地域教育支援	学校地域教育支援	スクールキャラバン定例会	S C 報告、年内のサポート支援のスケジュールと日程について	7月8日、8月5日、9月9日、10月14日、12月16日、2月17日、3月17日	7	ボランティアスタッフ	37
	学校地域教育支援	フレンドセンターパソコン教室 ジャストスマイル研修	フレンドセンターの要望で、2月の内容は、タイピングとお絵かき（ランチョンマットづくり）になった。ジャストスマイルを使うためサポートメンバーで事前練習を行った。	2月8日	1	ボランティアスタッフ	4
	学校地域教育支援	アマルの会	読み聞かせの企画や発声練習、及び平和の絵本の背景の学習など。	9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、3月22日	5	ボランティアスタッフ	37
小計				13		78	
大学等との連携事業	大学等との連携事業	家政大学連携学習会 子どもプログラミング教室	東京家政大と大原ICTサポートが連携して行う小学生向きプログラミング教室の打ち合わせを行った。テーマ・日程・参加人数などを検討した。	6月8日	1	ボランティアスタッフ・関係者	4
	小計				1		4
現代的課題の学習	現代的課題の学習	企画・運営会議	2月26日・3月6日に予定している講座（全2回）のタイトルや内容を決める。	11月26日、30日、12月17日、2月19日	4	子育て中の保護者・関係者	15
	現代的課題の学習	講座	講座「コロナ禍だからこそ『自分軸』を見つめ直そう」	2月26日、3月5日	2	関係者	24
	小計				6		39
合計					97		1029

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、i-youthの事業の一部を行わなかった。